

- ・表紙「みんなでスポーツin常念」……p.1
- ・安曇野を知る1枚「東山魁夷の碑」……p.1
- ・公民館講座
(豊科・穂高・三郷・堀金・明科) …p.2,3

- ・第19回安曇野市公民館大会開催……p.2
- ・私は一生懸命「寶 喜吉さん」……p.4
- ・ご活用ください！
安曇野市生涯学習情報誌 Link……p.4
- ・アンケートにご協力を！……p.4



みんなでスポーツ in 常念

堀金公民館は7月6日、常念ドームと堀金中央公園で「みんなでスポーツ常念」を開催し、安曇野市内各地から大人と子どもで構成された61組のチームが参加しました。グラウンドゴルフ・輪投げ・ピロポロシュート・ストラックアウト・フライングディスク・PKゲームの6種目のゲームで得点を競い、順位を決定して表彰しました。親子、祖父母と孫、兄弟など、様々な組み合わせのチームが得点に挑みながらゲームを楽しみました。

安曇野を知る1枚 ひがしやま か い い 東山魁夷の碑 (明科)

明科高校敷地内のひとつの石碑が佇む。「次代を荷う皆さんは あ の安曇野の美しさを長く伝えてくださるよう お願いいたします」と刻まれています。日本画家東山魁夷が、当時交流のあった明科高校生たちへあてた書簡の一節です。「あの安曇野」とは昭和45年魁夷が川端康成、井上靖と安曇野を訪れた時、長峰山から眺めた光景です。書簡には、三人で会うたびにあの時の美しさを話したと綴られています。



私は一生懸命 たから 寶

喜吉さん (明科)

～廃線敷プロジェクト～

明科潮沢の旧国鉄篠ノ井線廃線敷跡を訪れると、寶さんがウオーキングコース沿いに木製のベンチを作っていました。明北小学校の生徒たちと一緒にやっている「廃線敷プロジェクト」の一環です。

「子どもたちが市役所へ行って話をし、木をもらってきてくれたんだよ。材料は市の林務課も協力してくれてね」とうれしそうに話す寶さんはこの地域の有名人です。平成18年にボランティア団体「けやきの道」が潮沢地区で発足して以来、廃線敷の草刈りや木の伐採をはじめ、この道をきっかけに地元の子どもたちと関わり続けています。地元の明北小学校、明南小学校の子どもたちは毎年遠足で廃線敷を訪れ、寶さんの私設休憩所「東平庵」に立ち寄りました。



「ここが学校の庭のようになって、鳥や植物の観察に使えたらいいなと思っている」と寶さん。

明北小学校では最盛期（昭和36年）に658人いた生徒数は、令和6年には80人に減少しました。

その中でも潮沢地区の子ども数の減少は顕著です。

「この地、潮沢を後世に残していきたい。なんとかして子どもの世代に繋ぎたい」と語ります。

「昔からPTA、消防団など、地域や学校のために体を動かすことが好き。地域の人にも友だちにも恵まれて感謝している」という寶さん。孫7人、ひ孫1人と家族にも恵まれ、今日も地元のために汗を流しています。

ご活用ください！ 生涯学習情報誌 Link



B5版 76ページ



施設・講座・サークル・講師などの紹介記事を掲載した「安曇野市生涯学習情報誌 Link」を、公民館や交流学習センターにて無料で配布しているほか、安曇野市のホームページ（左下 2次元コード）からもご覧いただけます。「公民館を使いたい」「健康づくりのサークルに入りたい」など、学びのきっかけとしてお役立てください。



アンケートにご協力を！

安曇野市公民館報第77号に関する皆様のご意見・ご感想を、右下の2次元コードからお寄せください。

【期間】 10月31日（金）まで
ご協力をお願いいたします。



編集後記

◆玄関先のツバメの巣から卵が消え、再挑戦で5羽が誕生して巣立ちの練習をしています。早朝飛び立ち、夕刻には親と巣に戻ってきます。サザンカにはモズが巣作りしたが、托卵されたようで郭公の子どもが生まれました。自然界は逞しい。(T.Y)

◆北アルプスから見下ろす安曇野。水田が緑から黄味を増して季節の移り変わりを感じます。いい場所に住んでるなあとしみじみ。(M.N)



「教養講座」環境教室 ～安曇野の自然はどうなっていくの？～

三郷公民館は、7月12日に「南方種・外来種 激変する安曇野の生きもの事情」と題した講座を開催しました。講師は、三郷昆虫クラブ世話人である那須野雅好さんで、市内外から40人の参加がありました。

那須野さんは、外来動植物について話し、温暖化や大規模開発によっても環境が大きな影響を受けているとしました。

受講者は、写真や標本、前日に採取された「アカボシゴマダラ」の幼虫を見ながら、講師の豊富な話に聞き入りました。



公民館 講座



横綱トロンボーン カルテット安曇野場所 ～東京芸大生4人による～

豊科公民館は8月10日に、同ホールで本コンサートを開催しました。

東京芸術大学で共に学んだ上田愛香さん・青柳賢さん・藤原佳鈴さん・大関一成さんの4人のトロンボーン奏者と、曲の語り役に小田美紗希さんがゲスト出演し、グループ名にもあるように横綱級の演奏が披露されました。

トロンボーンカルテットでは有名な曲という「ポップスイートNo.3 I. Beguine」に始まり、皆に親しめる「山の歌セレクション」や「となりのトトロ」などを4人のハーモニーで聴衆を魅了しました。



後半の名作ミュージカル「サウンドオブミュージック」では、語りによってよりその曲の背景をイメージしながら演奏を聴くことができました。

終始「横綱トロンボーンカルテット」の素晴らしさに魅了され、会場からは大きな拍手が送られました。



子ども公民館講座 ～7月30日、31日に23人が参加～

堀金公民館は7月30日31日の2日間、けん玉、将棋、折り紙、絵手紙、ドローンの5講座を開催し、安曇野市内各地から23人の小学生が参加しました。それぞれの講師から指導を受けました。折り紙講座に参加した石田詩乃さん(穂高西小1年)は、「子ども園の時から折り紙をやっている。珍しい折り紙が覚えて嬉し。姉の紗菜さん(同3年)が絵手紙講座に出るので参加した」と話しました。



絵手紙講座に参加の、原玲奈さん(堀金小4年)は「細い線を描く練習が難しかった。うちに絵を描くのが楽しかった」と言い、一緒に参加した仲良し友達の内田陽菜さん(同)は「楽しかったけど二日だけなのが残念だった」と感想を語りました。



ICT講座 ・スマホ教室

～安曇野市公式LINEを学ぶ～

穂高公民館は6月11日に本講座を開催しました。

講師は安曇野市行革デジタル推進課職員で、受講者は6人でした。

- ①初めに「スマホを安全に使うために」として、様々な詐欺や不審メールなどの事例を動画で視聴しました。
- ②次に各自のスマホで安曇野市公式LINEの友達登録をしました。

- ③登録後、市から得たい情報を設定しました。
- ④続いて、公式LINEの機能紹介がされました。
- ⑤最後に公式LINEを使って、ごみ収集日の通知サービスを設定し、ごみの分別方法をAIに聞いてみました。また、最寄りの避難所を知りそこまでのルート調べたり、確定申告の予約をしたりしました。行革デジタル推進課職員と公民館担当者がマンツーマンで丁寧にサポートして進めたので、受講者は終始熱心に取り組み、「市の手続きがLINEだと家から直接、安全にできることを学びました」「不慣れで難しかったがサポートのおかげでよく分かった。これからは是非使ってみよう」との声がありました。



スマホ相談室 ～基礎的知識から個別相談まで～

8月21日に「スマホ相談室」が開催されました。

前半は、公民館の職員が4G・5GとWiFiの違いや画面ロックの仕方等の基礎的な知識から、二次元コードの読み取り方や電子決済、詐欺対策など実践的な内容まで様々な説明がされました。後半は公民館の職員が参加者からの個別の悩みを聞き、不要メールの削除方法や、LINEのやり取りなど幅広い相談に応じました。



日常生活に欠かせない存在となったスマホ。4月からは明科駅もSuicaなど交通系電子マネーに対応し始め、高齢者も時代に即した生活様式が求められています。「身近な人にスマホの使い方を聞けない参加者も多いが、個別相談にも応じるので、より便利に安全にスマホと付き合ってもらいたい」と職員の坂根邦章さん。

本講座は今後も偶数月に開催される予定なので、興味のある方はぜひ参加ください。

お問い合わせ先：
明科公民館 電話 0263-62-4605

第19回安曇野市公民館大会

6月8日に豊科公民館ホールで開催され、表彰式、事例発表、講演が行われました。

- 公民館活動推進功労者表彰受賞
元アルプス地区公民館長 古屋真一さん
- 地区公民館報表彰受賞
最優秀賞：上鳥羽地区公民館
優秀賞：青木花見地区公民館
野沢地区公民館
審査員特別賞：荻原地区公民館



- 事例発表 細萱地区公民館元役員 細川博水さん
「細萱区における文化による地域おこしの取り組み」
これから予想される、子育てや高齢者の増加等の課題について、公民館・社協・区の連携の重要性を語られました。
- 講演 松本大学総合経営学部 教授 白戸洋さん
「出番です公民館
～学習的手法による地域づくりと公民館の役割～」

地域づくりの5つのステップとして「個人の意識化・仲間づくり・課題学習と共有・地域資源の活用・未来へのビジョン」を示され、周辺自治体の事例を交えて公民館活動の役割を語られました。